

## 第 5 章 計画推進のための評価指標

---

# 1. 目標指標の設定

本章では、地域包括ケアシステムの深化・推進という観点から、第4章で掲げた各基本目標における事業の進行状況を客観的に管理（評価）できるよう具体的な評価指標を設定し、評価委員会にて目標に対する数値評価を適正に行います。なお、各評価指標の目標値は、社会情勢や地域の実情を踏まえ、評価委員会にて審議のうえ策定委員会の委員長と協議し、適切な数値へ変更することがあります。

## 基本目標1 高齢者が生きがいを持って活躍できる社会の実現

高齢者の社会参加を促進する上で、瀬戸市オリジナル口腔ダンス「瀬戸の情熱」の普及を目的として、ボランティアで活動している「大人の本気ダンス伝道師」は、地域において高齢者が主体となって活躍する代表的な活動であり、かつ介護予防にも資するものであることから、その認定者数を指標とします。加えて、高齢者が社会において役割を持ち、生きがいを持って活躍できる環境づくりにおいて、就労機会の提供をしていくことが求められていることから、シルバー人材センターの活動状況を指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
大人の本気ダンス伝道師の新規認定者数	14人 令和5(2023) 年度実績見込	16人	18人	20人
シルバー人材センター会員数 (年間合計)	500人 令和5(2023) 年度実績見込	500人	500人	500人

## 基本目標2 積極的な健康づくりと介護予防の推進

健康づくりと介護予防に関する事業の目的は、市民の健康寿命を延伸し、要介護となることを遅らせるとともに、重度化を防止することにあります。そのため、市が直接実施する介護予防教室等と、市が支援し、地域において自主的に取り組まれる地域サロン等の取り組みのそれぞれを活性化させ、参加者数を増やしていくことを、健康づくりと介護予防の取り組みの中心の課題に位置づけます。また、地域において高齢者の通いの場に参加する人を増やしていくことは、介護予防だけではなく、地域における支え合いの関係づくりにもつながるという点においても重要であり、併せて基本目標2の評価指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
一般介護予防事業（大人の充活！ワンコイントレーニング）の延べ参加者数	1,270人 令和5（2023） 年度実績見込	1,308人	1,347人	1,397人
一般介護予防事業（地域サロン等応援事業）延べ参加者数	793人 令和5（2023） 年度実績見込	815人	840人	872人
通いの場延べ参加者数	860人 令和5（2023） 年度実績見込	890人	920人	950人

## 基本目標3 住み慣れた地域における生活の継続支援

高齢者が、支援が必要となっても住み慣れた地域における生活を継続していける環境づくりを進めるうえで、安否確認を行うためのもーやっこサポート事業は、本市独自の支援のネットワークとして介護予防や在宅医療・介護連携の取り組みとも関連付けられる中核的な事業であることから、その登録者数を増やしていくことが重要となっています。また、高齢者の住まいの確保に向け、居住支援協議会を通じた取り組みを基本目標3における指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
もーやっこサポート事業登録者数（累積）	前年度実績値 + 15人 令和3（2021）・ 令和4（2022） 年度増加数平均	90人	105人	120人
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合	50% 令和5（2023） 年度実績見込	50%	50%	50%

#### 基本目標4 つながり支え合い、尊厳を持って暮らせる地域社会の実現

地域で暮らすさまざまな年齢や立場の人が、相互につながり支え合う地域社会を作っていく上で、地域の人の集いの場となる居場所を確保していくことや、高齢者を見守るネットワークを広げていくことが重要な取り組みとなることから、それらの事業に関する指標としています。また、個別のケースに即して、多職種・多機関が協働して支援の方策や利用可能な地域資源等について検討する地域ケア会議は、これからの地域づくりにおいて大切な役割を担っていることから、その開催数についても指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数	2か月に1件 把握する	6件	6件	6件
見守りネットワーク協定締結事業者数（累積）	67件 令和5（2023） 年度実績見込	68件	69件	70件
地域ケア会議開催数（年間合計）	8回 令和2（2020）～ 令和4（2022） 年度の最大値	8回	8回	8回

## 基本目標5 認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進

認知症に対する正しい理解を促進し、共生の社会づくりを推進する上で、認知症サポーター養成講座や地域包括支援センターが実施する講座等において、幅広い市民の理解促進を図っていくことが重要であることから、それらの取り組みに関する指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
認知症サポーター養成講座 (地域包括支援センター主催) 新規受講者数	109人 令和5(2023)年度実績見込	113人	117人	120人
地域はつらつ講座延べ参加者数	545人 令和5(2023)年度実績見込	560人	578人	600人

## 基本目標6 安心できる医療と介護の連携

医療と介護の連携の推進において、関係機関の情報共有のツールとして今後活用の促進を進めるべき、もーやっこネットワークシステムについて、本計画においては、活用状況の指標として登録記事数について確認していきます。また、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築及び推進のために、市民に向けて地域の医療・介護関係者と地域の目指すべき姿を共有するため、市民への普及啓発を推進することを目的とした出前講座の参加者数を指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
もーやっこネットワークシステム登録記事数(累積)	前年度実績値 + 14,197件 令和3(2021)～ 令和5(2023)年 度の増加数平均	105,251件	119,448件	133,645件
在宅医療・介護の出前講座の延べ参加者数	150人 令和5(2023)年度実績見込	155人	160人	165人

## 基本目標 7 介護保険事業の円滑な実施

介護サービスの質の向上の取り組みとして、介護サービス相談員の派遣回数と運営指導の実施回数について確認します。また、介護保険事業の円滑な実施に向け、介護人材の不足に対応した取り組みの一つとして、生活支援サービスに従事する介護予防・生活支援員の養成者数を指標とします。

指標	基準値	目標値		
		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
介護サービス相談員派遣回数 (年間合計)	31回 令和3(2021)～ 令和5(2023)年 度実績値見込 平均	31回	31回	31回
運営指導実施回数(年間合計)	25回 令和3(2021)～ 令和5(2023)年 度実績値見込 平均	25回	25回	25回
介護予防・生活支援員新規養成者数	11人 令和6(2024)～ 令和8(2026) 年度養成ニーズ 見込	5人	8人	11人